

公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団広報誌 VOL.5

1・2

月号

奇数月発行

ララララ MAGAZINE



ますむらひろし『銀河鉄道の夜・四次稿編』より ©ますむらひろし

特集 ますむらひろしの銀河鉄道の夜

漫画家 ますむらひろし インタビュー

〈スペシャルインタビュー〉声優朗読劇フォアレゼン
声優 森久保 祥太郎 さん

ミライのBUNKA研究室
八王子ユースオーケストラの活動を調査! ほか

ララララMAGAZINE
Vol.5 [1・2月号]

発行日:令和5年1月6日(金)

発行元:公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団

TEL:042-621-3005 FAX:042-621-3011



ホームページ

ますむらひろしの銀河鉄道の夜



独特のファンタジーな世界観と特徴ある猫のキャラクターで知られる漫画家 ますむらひろしさん。1月28日(土)から八王子市夢美術館で開催される特別展『ますむらひろしの銀河鉄道の夜-前編』に向けて、作品に対する思いなどお話を伺いました。

—ますむら先生の作品といえば、猫が登場人物として描かれますが、なぜ人ではなく猫を描くようになったのでしょうか？

初めて漫画を描いたのが手塚治賢に応募した時で、突然漫画を描こうというのに一等賞をとうとうと人と違って目立つものを描くにはと考え、人を描こうという気がまず起こらなかった。その頃、宮沢賢治の作品をとにかく読んでいて、賢治の世界にはいろんな動物が人間と共に出てくるわけですね。また、公害が問題になっていた時代でもあって、汚染された川の魚を猫に食べさせる実験があったんです。そのニュースを見たときに、「なぜ猫がこんなに吉しまなきやいけないんだ」と。この憤りを漫画にすることができないかと思っただけです。

—もともと猫は好きだったのですか？

特に好きじゃなかったですね。昭和30年代というのは、猫を愛玩で飼う人はあまりいなかった。それが、漫画を描くようになってから猫を飼うようになって、これまで40年の間に30匹くらいの猫と過ごしましたね。猫が家に出たり入ったりできる生活がしたくて、車通りが多いところを避けて、もともと林があったところに居を構えて庭をつくりました。

—漫画を描こうと思ったきっかけは？

最初は漫画家なんて夢にも思っていなくて、デザイナーを目指して専門学校に通っていました。しかし、商業デザイナーの仕事は企業の宣伝に関わる…その企業が公害を起こしているというのが段々と見えてきて、きれいなこともしれないけど、それを知って自分は何もできなくなってしまうんですね。そこで、ざっさき言った猫のニュースを見てビビッとさざちやったわけです。

—絵は昔から描いていたのですか？

絵は好きでしたね。ただ、美術部には所属していません。漫画家を目指して漫画を模写するというような

ことはしていませんでした。横尾忠則さんの作品に出合った時に衝撃を受けて、ああいう一枚絵での世界観というのが憧れていましたね。

—宮沢賢治に惹きつけられたきっかけは？

小学校のときに「慶十公園林」を習ったんですね。慶十という、昔でいうと「特殊学級」に通うような子どもが出てきて授業では「慶十はスゴイ」と扱われているのに、実際は別の学級に閉じ込められている…そういう矛盾を5年生のときに見せつけられて。だから、子ども心に宮沢賢治を読んで「怖い」んですね。きれいなことじゃない…それくらい賢治は面倒くさいんです。それから図書館で借りてきて読んでみたけど、その頃はちっとも面白いとも思わなくて、ただ「ざみしい」という感覚だけ。

東京に出てきて「宮沢賢治っていいぞ」といわれて、「注文の多い料理店」の初めの一文を読んだ時、一気に自分の故郷でもある東北の季節とか空気がよみがえったんです。東北の、美しくて、そして怖いところが…「ああ、この人の文章には本当の東北が書かれている」と思った。それから毎日のように賢治の作品を読みました。

—今回の展覧会の作品『銀河鉄道の夜』ですが、3度にも渡ってこの作品に取り組み続けたのは、何故なのでしょう？

一回目のページ数は百枚という条件があつて、二回目は二百枚。それでもまだ描き足りなかった。60歳を過ぎてオリジナルを絞り出すのはもうやめたと思っただけで、「賢治だったらまだ描きたいことがある」と。今回は六百枚、約3倍の内容が中に詰まっています。宮沢賢治という人が願って生きようとしたその集大成がこの作品で、それだけに何度も戻って来れるんだと思います。

—作品に対する自分の中での変化はありましたか？

一回目に描いた時には、ジョバンニのことを「面倒くさい子どもだな」と愛さ。それが、今回描いた時にはジョバンニの気持ち自分が自分なりに分かったような感覚があつて、それに驚きました。あとは昔は手放して賢治ってすごいって思っていた自分が、時間が経つて「ここからはついていけない」と思ったり。30年という



ますむらひろし『銀河鉄道の夜・四次稿編』より ©ますむらひろし

— 賢治は、視覚的な人。
だから、その頭の中にある画に
向かっていきたい。

歲月と共に、この作品をもっと一度描きたいと思わされている気がします。

— 賢治が生きた時代や見てきた世界に思いを馳せ、緻密な検証をもとに忠実に描こうと思うのは何故でしょうか？

自由な連想はいくらでもできますよね。でも賢治って非常に視覚的な人なんです。彼の頭の中に風景があるんですよ。だから、どうもその画に向かっていたい。銀河鉄道の列車の窓から色々なものが見えるんですが、銀河だから当然のように星があると思うんですけど、一度も星が出てこないぞと気づくんでは？賢治は、こういうことを全部分かっている仕掛けしているんです。

— 作品と向き合う中で、ターニングポイントや価値観が揺れ動くような瞬間はありましたか？

二回目に銀河鉄道の夜を描いた昭和60年。冒頭のシーンの6時ごろを回った時、という描写から、物語が進んでジヨバン二が琴座を見た時刻をおおよそ8時くらいかなと推定して、星座盤をもつてきて合わせてみたんです。すると、8月中旬くらい……これはお盆のお話だ」と、全身がゾワゾワツツとなりました。その頃、まだ夏の物語だという説は出ていなかったんです。しかも、作品の舞台が欧州なら、お盆なんて概念はないはずなんです。でも、もしかすると仏教徒だった賢治の「あの世で救われるのではなく、この世で救われなくて」という賢治の思いが隠されていたのかもしれない……。

賢治は何回も改稿を重ねていて、ある時期「すぐはつきりと自身の考えを書いていたのが第三次稿。そこに出てくる黒い帽子の男の台詞として、賢治の全てを注ぎ込んだような言葉が出てくるんですけど、どうも最後の第四次稿ではそれを外してしまっている……今回私が描いたのは第四次稿編ですが、「そうはいくか」と黒い帽子の男を入れ込んで笑。こっちはこっちの集大成ですね。賢治はこれだけ面白かったという……これは一種の研究書だと思っています。

— 最後に、八王子での展覧会に向けてメッセージをお願いします。

これだけ相当な量の絵を一つの作品で出すということとはこれまでにはやったことがなかった。「銀河鉄道の夜」の魅力や深みを1ページ1ページに詰め込んできたので、見たえのある展示になるのではないかと思います。



ますむらひろし『銀河鉄道の夜・四次稿編』より ©ますむらひろし

講演会のお知らせ

『銀河鉄道の夜』を描いて気づいたこと

漫画家のますむらひろしさんにご登壇いただきます。

2/18(土)14:30開演

会場：八王子市学園都市センター イベントホール(12F)

入場無料・要申込

定員：200名 ※応募者多数の場合は抽選

応募方法：往復はがき【締切2/3(金)必着】

※詳細は夢美術館ホームページをご覧ください。

ますむらひろしの 銀河鉄道の夜-前編

1/28(土)～3/26(日)

独特のファンタジーと猫のキャラクターで知られる漫画家ますむらひろしが、新たな研究成果を踏まえ宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』を漫画化。全4巻のうち前編(1・2巻)を紹介します。

10:00～19:00(ただし、入館は18:30まで) ※月曜休館(休日の場合は開館し、翌平日が休館)

【料金】一般 700円 学生・65歳以上 350円 ※中学生以下無料 ※ラトラトラ友の会会員は2割引

【お問合せ】八王子市夢美術館(八王子市八日町8-1 ビュータワー八王子2F)

TEL: 042-621-6777 FAX: 042-621-6776 【ホームページ】<https://www.yumebi.com>

20周年
Anniversary

(公財)八王子市
学園都市文化
ふれあい財団
設立20周年記念

八王子市
夢美術館
EXHIBITION



ますむらひろし

1952年山形県米沢市生まれ。1973年にデビュー作『霧にむせぶ夜』で第5回手塚賞準入選。初期代表作『アタゴオル物語』で繰り広げられるユーモラスな猫ヒデヨシと個性豊かなキャラクターの物語は人気を呼び、以後『アタゴオル』の作品は長期に渡ってシリーズ化される。一方で、宮沢賢治の作品『銀河鉄道の夜』『やまなし』『度十公園林』などを漫画化。2001年宮沢賢治学会イーハトーブ賞を受賞。

声優朗読劇

VORLESEN

フォアレーゼン

～太陽が、痛いほどいっぱい～

声優 森久保 祥太郎さん



©来海ユウ・
ティーエーエヌジー

Special Interview

スペシャルインタビュー

20周年
Anniversary

(公財)八王子市
学園都市文化
ふれあい財団
設立20周年記念

Special Interview

2/19(日)J:COMホール八王子で開催される「声優朗読劇 VORLESENフォアレーゼン～太陽が、痛いほどいっぱい～」公演に向けて、今回のメインキャストであり、八王子ご出身でもある声優の森久保祥太郎さんにお話しをお聞きしました♪

●森久保さんが八王子で過ごされたのは、いつ頃ですか？

1974年に元本郷町で生まれ、3歳から一度離れますが小学2年生から21歳頃まで川口町で育ちました。

●森久保さんにとって、八王子はどういう街ですか？

始まりの地。八王子の自然、仲間、空気感、都心から遠いからこそ生まれたハングリー精神。多くを授かりました。僕の中のビッグバンが起きた場所なので、たまに帰ると今でも初心を思い出させてくれます。

●八王子の中で、特に思い出深い場所はありますか？

高校生当時、BEAT LAND STUDIO (現在MATCH VOXというライブハウス) というバンドのリハーサルスタジオが駅北口近くにあって、放課後は毎日のように顔を出していました。

自分のバンドのリハーサルが無くて、他のバンドの仲間が誰かしら居たので溜まり場でした。地元の仲間はみんな、西放射線通りの中腹あたりの広場にバイクを停めて駅からそれぞれの学校に行っていたので、放課後はみんなのバイクに手紙を括り付けて、「長崎屋に居ます。」とか「バットマンビルにいるよ。」など連絡を取り合っていました。携帯の無い時代の懐かしい思い出です。

●今回、八代 拓さん、堀江 瞬さん、高塚智人さんとのご共演になりますが、どんな公演になりそうでしょうか？

八代くんは様々な形で共演してきた信頼できる役者ですし、堀江くんが高塚くんは番組やイベントでの共演が主で、その人柄の良さに安心しています。芝居でしっかりと絡めるのが楽しみです。この4人でまた観たい！と思っただけの舞台を目指します！

●最後に、八王子公演を楽しみにしている皆様へ向けてメッセージをお願いします！

八王子の皆さん、ただいま！市外からの皆様、ようこそ我が故郷八王子へ！
信頼できる仲間と4人で、精一杯お届けします。ぜひお楽しみに！！



森久保 祥太郎

[NARUTO-ナルト-疾風伝] 奈良シカマル 役
[東京リベンジャーズ] 稀咲鉄太 役
[クリミナル・マインド] Dr.スペンサー・リード 役

公演情報

声優朗読劇 VORLESENフォアレーゼン～太陽が、痛いほどいっぱい～

人気声優が出演する、他では見られない音楽朗読劇！音楽の生演奏とともにオリジナル朗読劇をお贈りします。朗読劇の後には声優たちによるトークコーナーも…！

2/19(日) 15:00 開演 J:COMホール八王子 未就学児入場不可 全席指定

【料金】S席 5,500円 A席 5,000円

【出演】朗読：森久保祥太郎、八代 拓、堀江 瞬、高塚智人 演奏：坂寄奏太(テノール)、森めぐみ(ピアノ)



八代 拓

[遊☆戯☆王SEVENS]
ルーク役
[アオアシ]
富樫慶司 役
[チェンソーマン]
荒井ヒロカズ 役



堀江 瞬

[HIGH CARD]
レオ・コンスタンティン・
ピノクル 役
[神クズ☆アイドル]
吉野カズキ 役
[VAZZROCK THE
ANIMATION]
白瀬優馬 役



高塚智人

[アイドルマスターSideM]
渡辺みのり 役
[スタンドマイヒーローズ
PIECE OF TRUTH]
荒木田蒼生 役
[LOOPERS]
タイラ 役

チケットは当財団ほか各種プレイガイドにて好評発売中！詳しくは財団ホームページをご覧ください。

八王子コミュニティオペラ

の活動をご紹介します!

Pick Up
ピックアップ

プロ・セミプロの歌手やスタッフ、公募した市民合唱団、市内外の大学・専門学校・地域のバレエ団と、当財団が力を合わせて創造する手づくりオペラ。愛称は『コミオペ』! 芸術監督である、日本を代表するテノール歌手 村上敏明さんのもと、「創る」「演じる」「観る」喜びを分かち合いながら、八王子だからこそできる、地域に根差した活動を目指しています。コロナ禍で活動を一時休止していましたが、1/22(日)のトーク&コンサートを皮切りに再始動...! そんな『コミオペ』の魅力たっぷりをご紹介します♪

20周年
Anniversary

(公財)八王子市
学園都市文化
ふれあい財団
設立20周年記念

特徴 その①

キャスト陣による合唱団指導!



オペラに出演するソリストたちが合唱団を直接指導! プロ・アマチュアの垣根を越え、一丸となってオペラをつくっています。

特徴 その②

地域の学生たちとオペラ制作!



学園都市である八王子の特性を活かし、衣裳・メイクなどを専攻する学生たちと一緒に舞台を制作しています。

特徴 その③

若手音楽家・芸術家たちの活躍!



将来の音楽界を担う若手音楽家たちがカバーキャストとして舞台を支えます。そのほか、公演に向けてプレコンサートを開催するなど大活躍!

写真で振り返る! これまでのあゆみ



レクチャーを交え、オペラの名曲を届けるニューイヤーガラコンサートとしてスタートしました!



当初はコンサートだったところ、本番の2週間程前に芸術監督の村上敏明さんの一言で照明のプランが加わり、小さいながらも舞台セットを設置。地域のバレエ団も参加し、初めて小さなオペラの形になりました!



衣裳・ヘアメイク・大道具・撮影のスタッフとして近隣の大学から学生たちが参加! 地域のコミュニティでつくる「南大沢コミュニティオペラ」へと進化しました。



平成26・27・28年度と徐々にパワーアップし、29年度には当初とは比較にならないくらい大規模な舞台セットに。初めて地域の大学やカフェから協賛をいただき、より一層地域に根ざした活動となりました。



この年には、本公演でカバーキャストをしていた若手の音楽家たちによる、市民センター公演を開催。身近な場所で楽しめるミニオペラ公演が実現しました。



コロナ禍の中で試行錯誤しながら、メインキャストによるコンサートをオンライン配信。今後の更なる発展へ願いを込め「八王子コミュニティオペラ」に改名! 新たな挑戦の年となりました。



そのほか、上柚木小学校の児童合唱団や地域のバレエ団Yuriko Dance Artsとも連携し、八王子のコミュニティならではの特色ある舞台を展開してきました♪



芸術監督に聞く!

『今後のコミュニティオペラが目指すもの』

南大沢から八王子に名称・拠点が変わりましたが、その性格は変わらないと思っています。今までよりパワーアップできる環境が整い、でもコミュニティでつくる温かさはそのままに。そして、総合的な要素が詰まったオペラだからこそ、歌じゃなくても例えばお裁縫や絵画、朗読など何か得意なこと持ち寄って、誰でも「参加したい!」と思ったら参加できる...そんなオペラ団になっていけたら嬉しいですね。



1/22(日)『八王子コミュニティオペラ トーク&コンサート』チケット好評発売中! 詳細は本誌最終ページ『公演情報』をご覧ください♪

第5回 八王子ユースオーケストラの活動を調査!

三十丁の文化を創り出す、次世代の

若者たちの活動を研究するコーナー!!



ミライの
BUNKA
研究室



Hachioji Youth Orchestra

八王子ユースオーケストラは、2012年度に結成し、小学生から25歳までのメンバーで八王子市内を中心に活動しているオーケストラです。2021年度より音楽監督に井田勝大先生を迎え、今年度は4月のいちようホールでのコンサートに始まり、8月にはショッピングモールにてアンサンブルコンサートを開催、10月には講演会にゲスト出演するなど通常の演奏会の枠に留まらず幅広く活動しています。今回はそんなユースオーケストラのメンバーと音楽監督の井田先生にお話を伺いました!



メンバーでパンフレット作りにも挑戦!



4月
春のwelcome
コンサート



ヴァイオリン
内田 悠さん

初めてのアンサンブルで、練習ではオーケストラのように常に先生から指示をもらえるものではなく、自分たちで練習をまわしていくことの難しさがありました。でも、練習の中での課題を話し合っていくうちに、お互い意見を言い合えるようになって、メンバー同士の仲をより一層深めることができた貴重な機会になりました。



自分たちで考えた
曲紹介&MC!



8月
アンサンブル
コンサート



オーボエ
星野 琴音さん

私はオーボエ奏者として、目立つところを重点的に練習していましたが、アンサンブルでは、他の部分もメンバーと息を合わせることの大切さを学べたと思います。当日は、バランスの良い演奏ができるように心掛けました。ショッピングセンターでは、いつもよりも楽しく演奏ができました。また街中で演奏する機会があれば嬉しいです!



©Ayumu Gombi
井田勝大

音楽監督の井田勝大先生に聞きました!
「今後、八王子ユースオーケストラが目指すものとは…?」

八王子の文化は、多くの方々の尽力によりつくり上げられていると思います。八王子ユースオーケストラも、八王子市内外の様々な団体と交流を深めていく中で、さらに多くの皆様に応援していただけるような、またその先には八王子の文化の一端を担えるような団体へと進化していきたいです。

コガスゴイ

オーケストラへの参加が初めてという初級者から音楽大学に通う上級者まで、幅広いレベルのメンバーが集う八王子ユースオーケストラ。それぞれの演奏や自己表現の目標を実現できるオーケストラを目指していて、有志のメンバーで選曲・編曲したポップスメドレーを演奏したり、演奏会パンフレットをデザインから曲紹介まで自分たちで考えたり、とにかくメンバーたちの主体性あふれる取組みがスゴイ…! 演奏技術だけでなく、様々な角度から音楽や演奏会づくりについて学び、その楽しさを実感できるオーケストラ。今後の活躍にも期待いっぱいです!(財団スタッフM)



終演後にみんなで
記念撮影♪



10月
池上影
講演会



トロンボーン
野上 功さん

僕とみんなはこの演奏会で成長できたことがあります。お互いがどんなことを考えて演奏しているか共有するようになったこと。コミュニケーションをとることができるようになり、金管楽器パート全体に絆ができたこと。なにも考えず一生懸命演奏するのではなく、パレエ音楽ならそのストーリーにあわせた新しい演奏の仕方ができたことです。

一緒に演奏するメンバーを大募集中!

メンバー、講師、スタッフ一同、心からお待ちしています!
3/12(日)には、いちようホールで地元パレエ団「パレエジャンブルウエスト」と共演する演奏会を開催。
練習の見学は随時受付中。詳細は公式ホームページへ♪

公式ホームページ



学芸員のある1日

- 9:30 出勤
開館準備
- 10:00 メールチェック
- 11:00 マスコミ取材対応
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 学芸会議
- 14:00 企画打ち合わせ
- 16:00 特別展準備
- 18:15 退勤

次の展覧会の
レイアウトですが…



「お客様が作品と良い時間を過ごす
展覧会をつくりたい！」

#お仕事
ファイル

財団のお仕事をご紹介します！

File
5

八王子市夢美術館
学芸員

美術館学芸員は、展覧会の企画・制作・運営、収蔵作品の管理、収蔵作品やその作家の調査、情報発信などのお仕事をしています。また、巡回展では、他の美術館などでも展示される作品の展覧会の企画も行います。夢美術館は比較的規模は小さい

ですが、親密な空間で作品と深く向き合えるなど、当館だからこそ引き出せる作品の魅力を体感できます。さらに、八王子にゆかりのある作家やその作品に親しみを感じてもらえるような展覧会の企画づくりにも挑戦しています。

『やりがいを感じる瞬間は？』

展覧会の企画をする際、作品に合わせて展示方法を工夫したときに、他の展覧会で見たものより見やすかった、まるで違う作品の展覧会のように良かった、などの感想をいただいた時はとても嬉しかったです。(学芸員S)

『今まで担当した中で一番印象に残った展覧会は？』

今年の4～6月に開催した「最後の浮世絵師 月岡芳年展」です。それまで担当していた展覧会では、とにかく仕事をこなすのに必死でした。最近になって、まずは自分が作品の良さを楽しめないと、お客様にも楽しんでいただけないのではと気づきました。芳年展では自分が「面白い」と思う方法を考えながら展示ができるようになった気がします。これからも、自分自身楽しみながら、お客様が作品と良い時間を過ごす展覧会を企画していきたいです。(学芸員U)

インタビューしました！

ラララ voice

財団主催公演の来場者アンケートから、感想をご紹介します。

10/10(月・祝) J:COMホール八王子
池上彰 講演会
～社会のために私たちができること～
社会貢献を大袈裟に考える必要は無く、身近なところから始めればよいということが分かりました。
物資による支援だけではなく、知識の支援が後々まで役立つということが理解できました。

10/23(日) いちょうホール 大ホール
東儀秀樹コンサート～悠久の音色に包まれて～
今まで雅楽を生で聴いてみたいと思っていましたが、敷居が高いイメージが強くなかなか足を運ぶまでには至りませんでした。
友達が東儀さんのファンで思い切って一緒に参加させていただきました。古典的なメロディのもの、とても聴きやすく感じました。ハナミズキは涙が出ました。

11/3(木・祝) J:COMホール八王子
東京交響楽団 第9回八王子定期演奏会
牛田さんの繊細なタッチが、ホールに快く響き、素晴らしかったです。広上さんの後半の躍るような指揮がチャームングでした。ハーブ・オーボエ等の印象的なソロを生で間近で聴けてよかったです。
『くるみ割り人形』をクリスマス前に聴けて、気持ちが浮き立ちました。

本誌「ララララ
MAGAZINE」への
感想、ご意見も募集
しています！



●活動する中で、八王子とはどのような街とお考えでしょうか。
八王子は伝統と新しい文化が自然に融合していて、多様性があり、エネ

●活動する中で、八王子とはどのような街とお考えでしょうか。
八王子は伝統と新しい文化が自然に融合していて、多様性があり、エネ

●現在の活動を始めるきっかけは何だったのでしょうか。
私自身は演奏家ではないのですが、娘が音楽の道に進んだことから若い音楽家の演奏に触れる機会が増え、いつも素晴らしいなと思いながら聴いていました。
日本の演奏家は若くてもレベルが高いのですが、高い演奏技術を持つていても辞めてしまう方が多く、また一般の方がその演奏を聴く機会が少ないことを残念に感じていました。そんな中、若手演奏家のコンサートに携わる機会をいただき、そこから繋がりが生まれ、今ではたくさんの方の演奏家の演奏活動のサポートやコンサートのコーディネートをするようになりました。普段はクラシックを聴かない方にも演奏の素晴らしさを知っていただきたいという思いで現在も活動しています。

●やりがいを感じる瞬間はどのような時でしょうか。
4年前から豊田にある商業施設、イオンモール多摩平の森で毎週末にミニコンサートを行い、来年2月で二百回になるのですが、若手演奏家の本格的な演奏を地域で気軽に聴けるといことで、この4年間、幅広い年代の方いらしていただくようになり、音楽で社会に貢献できているなと感じられる機会は意外と少ないのですが、長く続けることで徐々にお客様が増え、音楽で癒されるという声も多くなりました。地域活性化にも役立つというところが目に見えて実感できるのは、やはりとても嬉しいです。

はちびと

八王子の文化を支えるまちの人々をご紹介します！



坂本多佳子さん

●今後は八王子でどのような活動をしていきたいですか。
八王子は大好きな街です。八王子の方々にはこれまででもお世話になっているので、私も音楽の力で街の活性化に貢献できたら嬉しいなと思っています。

●今後は八王子でどのような活動をしていきたいですか。
八王子は大好きな街です。八王子の方々にはこれまででもお世話になっているので、私も音楽の力で街の活性化に貢献できたら嬉しいなと思っています。

●今後は八王子でどのような活動をしていきたいですか。
八王子は大好きな街です。八王子の方々にはこれまででもお世話になっているので、私も音楽の力で街の活性化に貢献できたら嬉しいなと思っています。

●今後は八王子でどのような活動をしていきたいですか。
八王子は大好きな街です。八王子の方々にはこれまででもお世話になっているので、私も音楽の力で街の活性化に貢献できたら嬉しいなと思っています。

鳥公園 #16 『ヨア呼んでるよ -Hey God, Job's calling you!-』

3/17(金)

①13:00 ②18:00開演

18(土)

①13:00 ②18:00開演

19(日)

13:00開演

いちようホール小ホール

全席指定 未就学児入場不可

【入場料】友の会 ¥2,700 一般 ¥3,000
ユース券 ¥2,000※25歳以下



2023 八王子ふれあいこどもまつり

3/21(火・祝)

いちようホール大ホール・小ホール



【大ホール】ケロボンズ『うたって おどって あそぼう!』
【小ホール】劇団風の子公演『風の一座』、
ヌビア『みんなで作る! 完全即興チェロコンサート』
各公演のチケット販売情報等、詳細は財団ホームページへ♪

INFORMATION

インフォメーション



おかげさまで、当財団は設立20周年を迎えました。皆様への感謝の気持ちを込めて、様々なイベントをお届けします♪

お知らせ

●J:COMチャンネル×J:COMホール八王子特別番組 放送決定!
【番組名】池上彰 講演会 ~社会のために私たちができること~
1/14(土) 18:30~ 都内全エリア
【番組名】第37回八王子市内高等学校 吹奏楽フェスティバル
1/21(土) 21:00~・22(日) 21:00~ 八王子・日野・多摩局エリア
※放送日時は変更となる場合がございます。
【お問合せ】(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 TEL:042-621-3005

●鳥公園の「ジコショウカイ展」in八王子
2/5(日)・6(月)・7(火) 各日11:00開場 20:00閉場(最終日は17:00閉場)
学園都市センターギャラリーホール(11F)
※途中入退場自由。一部有料イベントあり。
【お問合せ】(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 TEL:042-621-3005

チケット購入方法

●窓口購入(9:00~19:00)※発売初日は10:00~
いちようホール、南大沢文化会館
※上記2館は月曜休館/月曜が休日の場合は翌平日休館
学園都市センター、J:COMホール八王子
※学園都市センターは2/16(木)休館
●電話・インターネット予約※発売初日は13:00~
TEL:042-621-3005(9:00~17:00)
インターネット <https://www.hachiojibunka.or.jp/ticket/>
※事前に利用登録が必要です。

施設情報

▶いちようホール TEL:042-621-3001 FAX:042-621-3007
八王子市本町24-1※月曜休館(月曜が休日の場合は翌平日休館)
▶南大沢文化会館 TEL:042-679-2202 FAX:042-679-2212
八王子市南大沢2-27※月曜休館(月曜が休日の場合は翌平日休館)
▶学園都市センター TEL:042-646-5611 FAX:042-646-2663
八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル 11・12F※2/16(木)休館
▶J:COMホール八王子 TEL:042-655-0809 FAX:042-655-0807
八王子市市安町4-7-1 サザンスカイトワー八王子4F
▶八王子市夢美術館 TEL:042-621-6777 FAX:042-621-6776
八王子市八日町8-1 ビュータワー八王子2F
※月曜休館(月曜が休日の場合は翌平日休館)

編集後記

今回の特集インタビューで、ますむらひろし先生のご自宅へお邪魔しました。ファンタジーの世界に迷い込んだかのような緑いっぱいのお庭と、愛猫のハテナちゃん。まさに、ますむら先生の描く世界…!ますむら先生のお人柄とお話しに心動かされ、帰ってすぐに宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』も読み直しました。今から展覧会が待ち遠しい…!ぜひ皆様にも、このMAGAZINEを片手に夢美術館にお越しただけいたら嬉しいです♪(財団スタッフ)

公演情報

八王子コミュニティオペラ トーク&コンサート ~コミュニティオペラのこれまでとこれから~



1/22(日) 15:00開演 いちようホール大ホール
全席指定 未就学児入場不可
【入場料】一般 ¥800 高校生以下 ¥500
【出演】竹田有輝子(ソプラノ)、奈良原繭里(ソプラノ)、
村上敏明(テノール)、森口賢二(バリトン)、
品田広希(バリトン)、江澤隆行(ピアニスト)、
角直之(演出家) ほか

【曲目】オペラ「椿姫」「ラ・ボエーム」「愛の妙薬」「チャルダージュの女王」「魔笛」「こうもり」「カルメン」より



立春にぎわい寄席



2/4(土) 14:00開演 いちようホール大ホール
全席指定 未就学児入場不可
【入場料】友の会 ¥2,700 一般 ¥3,000
【出演】
桃月庵白酒、林家さく麿、三遊亭兼好、三遊亭萬橋



南大沢クラシックシリーズ Vol.2 荘村清志 ギター・リサイタル with 藤木大地



2/26(日) 14:30開演 南大沢文化会館主ホール
全席指定 未就学児入場不可
【入場料】友の会 ¥3,600 一般 ¥4,000
ユース券 ¥2,000
【出演】荘村清志(ギター)
ゲスト:藤木大地(カウンターテナー)
【曲目】タレガ:アルハンブラの想い出
ヘンデル:オンブラ・マイフ ほか



八王子ユースオーケストラ with バレエシャムブルウエスト 特別公演



3/12(日) 14:00開演 いちようホール大ホール
全席指定 4歳未満入場不可
【入場料】友の会 ¥900 一般 ¥1,000
ユース券 ¥500※25歳以下
【出演】井田勝大(指揮)、
八王子ユースオーケストラ(管弦楽)、
バレエシャムブルウエスト
【曲目】
ドリーブ:バレエ組曲「シルヴィア」ほか



ネーミングライツ公演